



ろう者と聴者が共につくる

デフ・パペットシアター・ひとみ

DEAF PUPPET THEATER HITOMI

にんぎょうげき

みんなそれぞれ

見えて

聞こえて

かわのわっぱ

河童

原作 火野葦平 「河童曼陀羅」 国書刊行会
脚本・演出 立山ひろみ



2018年 2月22日 木 [14:00] 23日 金 [14:00/19:00]
24日 土 [14:00] 25日 日 [14:00]

ソリッドスクエア B1ホール ※開場は開演30分前

主催：(公財)現代人形劇センター/デフ・パペットシアター・ひとみ川崎市公演を観る会
共催：川崎市

助成：文化庁 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)



劇団 HP

河の童

かわのわっぱ

デフ・パペットシアター・ひとみが今回挑む作品のテーマは「共生」です。

人種、国籍、宗教、性別、障がい、様々な違いを抱えて生きる現代の我々にとって真に「共に生きる」とは何かに向き合います。

あらすじ

村はずれの井戸には河童が住んでいました。

河童は、コイヤフナ、カニヤカエル、ゲンゴロウとプカプカ泳いだり、子どもたちと相撲をとったり、のんびりした毎日を過ごしています。

そんな河童とある少女との出会い。

河童の周りには、子どもたちの笑顔が溢れ、いつまでもそんな時間が続くと思っていたのに。

村に干ばつが続いた年、村人たちはそれを河童のせいにして。

河童は井戸の底で考える。人間たちの行動が分からない河童は、身体中をかきむしりながら、一体どうしてこんなことが起こるのだろうと考えます。

デフ・パペットシアター・ひとみ

ろう者と聴者が協同してつくるプロの人形劇団です。

NHKと共同で「ひよっこりひょうたん島」を製作した、人形劇団ひとみ座を母体に、視覚言語を使うろう者と音声言語を使う聴者がお互いの感性を活かして作品をつくることで、今までにない表現方法をうみ、生の舞台をあまり観る機会のない方も、子どもから大人まで障がいのあるなしに関わらず、一緒に楽しめる舞台をつくることをミッションに活動を続けています。

キャスト

榎本トオル

鈴木文

鈴木香澄

増子仁美

やなせけいこ

善岡修

スタッフ

脚本・演出 / 立山ひろみ

人形美術 / 本川東洋子

舞台美術 / 大島広子

音楽 / 佐藤望

振付 / 向雲太郎 (デュ社)

照明 / 後藤義夫 (有)ステージ・アイ

舞台監督 / 榎本トオル

美術進行 / 小倉悦子

2018. 2.22 thu ~ 25 sun

ソリッドスクエア B1ホール



※開場は開演の30分前

【チケット料金】

前売 大人 3,000円
 学生(大高中生) 2,500円
 小学生以下 2,000円

当日料金は 各300円増 全席自由

チケット販売開始: 2017年12月13日 (水) 10:00~

【お申込み】

■ チケットぴあ [Pコード]482-322

[QRコード]



■ イープラス

<http://eplus.jp/sys/main.jsp>

■ Peatix

<http://peatix.com/group/62980/view>

■ (公財)現代人形劇センター

TEL: 044-777-2228 FAX: 777-3570

神奈川県川崎市中原区井田3-10-31

MAIL: ticket@puppet.or.jp

【お問い合わせ】(公財)現代人形劇センター

MAIL: deaf_hp@puppet.or.jp



- 主催: (公財)現代人形劇センター / デフ・パペットシアター・ひとみ川崎市公演を観る会
- 共催: 川崎市
- 後援: 神奈川県教育委員会 / 川崎市教育委員会 / (公財)川崎市文化財団 / (一財)全日本ろうあ連盟 / (社福)神奈川県社会福祉協議会 / (社福)川崎市社会福祉協議会 / (社福)神奈川県聴覚障害者総合福祉協会、神奈川県聴覚障害者福祉センター、川崎市聴覚障害者情報文化センター / NPO法人川崎市ろう者協会 / NPO法人日本ウニマ (国際人形劇連盟日本センター) / 神奈川県聴覚障害者連盟、(公社)神奈川県聴覚障害者協会
- 協力: (株)伝わるラボ、NPO法人サポートひろがり / 日本聴覚障害者心理協会 / 手話同好会のみ / 神奈川大学手話サークル303 / アブライドシアター研究所、ドラマエデュケーションカンパニー / あらら企画
- 協賛: バイオニア(株) / (有)フジオート / (一社)日本補聴器工業会 ●寄付: (公財)カメイ社会教育振興財団(仙台市)
- 企画制作: (公財)現代人形劇センター